

第3回国連防災世界会議における関連ワークショップ「ジオハザード軽減に向けた地球科学の人材育成：防災国際ネットワーク構築」の開催について

1. 主 催： 日本学術会議地球惑星科学委員会
2. 共 催： 東北大学災害科学国際研究所、独立行政法人産業技術総合研究所
3. 後 援： 国際地質科学連合、公益財団法人 日本国際協力財団、独立行政法人科学技術振興財団、独立行政法人海洋研究開発機構、東京大学地震研究所、広島大学大学院文学研究科、岡山大学大学院理学研究科、明治大学、大阪市立大学大学院理学研究科
4. 日 時：平成27年3月15日（日） 13：00 ～ 20：00
5. 場 所： 東北大学川内北キャンパス C202 教室
6. 分科会の開催： 会議当日の午前中に東北大学（仙台市）にて開催する

7. 開催趣旨：

活動的な沈み込み帯に位置する国々では活発な地球活動に関わる災害が多発する。地震・津波、火山活動、異常気象に伴う地滑りなどである。沈み込み帯に位置する国々は、開発途上国が多く、これらの地質災害にかかる備えが不十分である。災害先進国である、日本が、今まで培って来たノウハウを提供し、ともに減災に向けた取り組みをすべきである。

本ワークショップでは、地震、津波、地滑り、火山災害等の地質災害を被る可能性が高い国々に対して、日本を始めとする災害先進国がどのようにしてノウハウの移転を行うか、その問題点と仕組みづくりを議論する。可能であれば、日本発の Capacity Building Model を構築することを目指す。

8. 次 第：

13：00 開場

司会：北里 洋*（日本学術会議連携会員、独立行政法人海洋研究開発機構上席研究員）及び後藤和久（東北大学災害科学国際研究所准教授）

（13：10～13：30）

開会の挨拶

* 奥村 誠（東北大学災害科学国際研究所副所長）

* 北里 洋*（日本学術会議連携会員、独立行政法人海洋研究開発機構

上席研究員)

趣旨説明とワークショップのゴール

(13:30～15:45)

第一部： Geohazard 人材育成の現状紹介

* Dr. Nalin Ratnayak; Senior Lecturer, University of Moratuwa, Sri Lanka

* Dr. Gülüm Tarircan (Associate Professor, Bogazici University, Turkey)

* Prof. Dr. Iskandar Zulkarnain; LIPI President, Indonesia

* Dr. Punya Charusiri, Associate Professor, Chulalongkorn University,
Thailand

* 久田健一郎 (筑波大学地球科学系教授)

(15:45～16:00) 休憩

(16:00～18:00)

第二部： Geohazard 関係のキャパシティービルディングに向けて

* 本蔵義守 (JST, 東京工業大学名誉教授)

* 横井俊明 (JICA, 独立行政法人建築研究所国際地震工学センター長)

* 竹内邦良 (独立行政法人土木研究所)

* Dr. Patrick McKeever (UNESCO, Geoscience Division Chair, France)

* Prof. Dr. Roland Oberhänsli (IUGS, President; Professor, Institute of
Earth & Environmental Sciences, Potsdam, Germany)

* 小川勇二郎* (日本学術会議特任連携会員、IUGS 理事、筑波大学名誉教授)

第三部：閉会の挨拶

* 佃 栄吉* (日本学術会議連携会員、独立行政法人産業技術総合研究所理事)